



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

**2021年
6月号
(第59号)**

今月のことば

「20歳であろうが80歳であろうが学ぶことをやめたものは老人である。学び続ける者はいつまでも若い。

人生で一番大切なことは若い精神を持ち続けることだ。」ヘンリー・フォード（石田孝次選）
 （当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です）

2020～2021 年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部长 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」
 東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化を楽しもう！」
 アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール) 「変化をもたらそう」
 国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク) 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次
 書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ 評価（今期を振り返り、次期へのステップアップにつなげましょう！）

月例会プログラム


日時：6月1日(火) 19:00～20:30
 会場：ZoomによるWEB開催
 司会：小早川浩彦書記

- *開会点鐘および会長挨拶 深尾香子会長
- *今月のことば 石田孝次
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *「次年度に向けてやりたいことの検討」
- *チーム報告（農園、多摩社協、地域団体）
- *YMCA ニュース・連絡等
- *メンバー近況報告
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *閉会挨拶および閉会点鐘 会長

（WEB開催のため構成を一部省略しています。）

6月の Happy Birthday / Happy Anniversary
 《誕生日》 峰岸幸枝(20日)
 メネット小野純子(22日)
 《結婚記念日》なし

【巻頭言】「今はワクチン接種が最大の課題」



昨年6月のこの巻頭言で、都議会では新型コロナウイルス感染症の拡大を災害の一種と捉え、都議会に「新型コロナウイルスに関する災害対策連絡調整本部会議」を設置し11回開催したと報告しました。この会議は正副議長と各会派の幹事長6人の8人構成で設置されており、毎回、知事、副知事、関係局長等が出席し、都の新型コロナ対策に関する政策について、チェックや提言を行う機関となっています。会議は既に44回開催されています。本部長は議長として私が務め、概ね1時間程度費やされています。いわば行政と議会を結ぶパイプ役となっているわけです。そしてすでに都では、コロナ対策に3兆円の予算が費やされ、中小企業向けの融資総額は6兆円に達しています。今はワクチン接種の拡大が最大の課題となっています。我が国はワクチン確保も接種も先進国の中では最下位を走っています。十分なワクチンの確保と医師や看護師のみならず歯科医師などの力を借りながら、ワクチン接種の打ち手の確保が必要です。オリンピック・パラリンピックの開催予定日も近づいていますが、コロナ対策を無視しての開催は困難と言えます。（石川良一）

5 月 例 会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席7名	出 席 内 訳	メンバー 7名	BF		ファンド	
			メーキャップ 1名	切手 375g(今年度累計 375g)	オークション 0円		
			出席率 73%	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計 0円)	
			メネット 0名	ぽんぽこファンド 12,800円		スマイル 0円	
			ゲスト・ビジター 2名	(今年度累計12,800円)		(今年度累計 0円)	

5月例会報告

5月6日(木)19:00から、例会がZoomにて開催されました。ゲストスピーカーは、多摩市社会福祉協議会(通称:多摩社協)の大久保雅司さんと宮原龍太さんのお二人です。多摩ボランティア・市民活動支援センター長でもある大久保さんには、「多摩市社会福祉協議会の取り組み～食の支援を通じて～」というタイトルで、多摩社協の位置づけや、多摩市の地域課題、多摩市の地域企業・大学等の連絡会「ゆるたまネット」の存在、子ども食堂の現状、多摩社協が当クラブに求めていることなどを、多岐に亘ってご説明いただきました。宮原さんからは、多摩社協のまちづくり推進担当という立場から、ご自身に関わる地域福祉推進委員会の役割や体制、効果についてお話いただきました。ぽんぽこ農園の野菜の提供に限らず、イベント協力や子ども食堂の支援など、ボランティアには様々なニーズがあることを再認識できて、当クラブとしても、地域貢献を進める際の多くのヒントを得ることができました。

【まとめ】
～東京多摩みなみワイズメンズクラブ様との連携～

○食の支援活動を通じたニーズアラルカト

「ヒト」…配送他の支援

【配送】
→ボラセンから子ども食堂等への寄付品(食料)の配送
→子ども食堂で配布の弁当や食材を支援が必要な世帯に配送

【拠点】
→フードパントリー拠点の運営支援(今後聖ヶ丘に設置予定)

【事業(イベント)】
→食料配布事業の準備や当日の手伝いなど

「モノ」…食品等のご寄付など

「コト」…定期的なフードライブの実施(定例会の際に提供可能な食品を持ち寄る等)、農園の運営(食材を寄付)

「カネ」…歳末たすけあい募金の協力、資金的支援など
※募金の一部が子ども食堂応援支援金の財源となっている

「場所」…食料保管場所の提供、イベント実施の場の提供、子ども食堂・学習支援などを行う場の提供・実施など

ゲストスピーチ後は、クラブ会則の第5条3項の修正(会費を月額4,000円から3,000円に減額)の承認が、参加したクラブメンバー全員の一致で行われました。チーム報告(農園)では、玉ねぎの収穫時期が迫っており、販売・寄付先の検討が必要であると、石田さんからご連絡いただきました。また、YMCAニュースとして、YMCAの組織改編について、小野さんからご説明いただきました。衣笠さんから参加の感想をいただき、定刻を少し過ぎての終了となりました。(小早川記)



《出席者》「メンバー」7名:石田、伊藤、小野、小早川、田中、深尾、綿引、「ビジター」1名:衣笠(埼玉)、「ゲスト」2名:大久保雅司、宮原龍太

5月第2例会(運用会議)報告

5月10日(月)19:00から、Zoomにて5月第2例会が開催されました。次年度に向けて、会計担当から次年度活動予算案(特別会計)の説明が行われました。コロナ禍ではありますが、予算は各種イベントを実施する前提で策定し、中止の場合は都度見直すという方針で整理いたしました。定例審議事項では、6月例会プログラムにて、メンバースピーチの時間を使い、次年度に何をやりたいかを検討することになりました。審議事項では、ぽんぽこ農園で5月に収穫予定の玉ねぎ約300個の販売・寄付先を検討しました。当クラブのメンバーやプランター栽培講座の参加者への販売だけでなく、近隣クラブや関係のあるYMCAの専門学校への頒布、多摩市のボランティアセンターへの寄付等、様々なアイデアが出て、皆で議論の上、対応方針を整理しました。(小早川記)

《出席者》7名:安藤、石田、伊藤、小野、小早川、深尾、綿引



会長として3年間を過ぎて

2代目会長を拝命して3か年が過ぎました。ぽんぽこ農園は、天候不順に見舞われたり、虫の攻撃も受けたりもしましたが、10種類超の野菜を収穫するに至り、我々に大きな恵みを与えてくれました。プロのスキル、友の会メンバーによる日々の助け、ワイズ、YMCAによる販路の提供、加工品を提案してくれたユースリーダーたち、同じ思いの地元団体との連携、買ってくださるお客さまの笑顔。お一人おひとりに御礼を申し上げます。

日々、こうして多くの方に支えられて、クラブは在京ワイズ新年会と部大会のホストを担い、先輩方との懇親を深めることも出来ました。それらの活動から、私自身はチェンジ2022委員会へ、来る2021年7月からは東日本区の役員として、更に翌年には東新部長と立て続けに重責を担うことになりました。ワイズ100周年を目の前に、次の100年を目指して、ワイズメンとは何か?を先人に学び、自分に問い、皆さ

まと共有するべく今まさに学びの日々を送っています。

ボランティアを掲げる団体は、今では数え切れないほど存在し、ワイズよりも大きな社会貢献をしている所も沢山あります。その中で存在意義を示すには、先に記したお互いの信頼による縦横無尽につながっていく力を、社会に示す事に他なりません。

そのためにも、核となるクラブは元気でなければなりません。アイデアが浮かべば共有する。疑問が湧けば相談する。不安があれば解決する。これも皆の協力があつての事です。7月1日からは直前会長となりますが、皆が例会の日を楽しみにして集まれるように、これからも互いの意見を持ち寄って、向上していけるように力を尽くしたいと思っています。

(深尾記)

近隣クラブ会長を交えての話し合い



今村路加さん 為我井輝忠さん 伊藤幾夫次期会長

6月例会は、次年度の展望を語り合う場としたいと思います。次期会長主題を「楽しさをシェアしよう！」として掲げ、近隣クラブの東京町田コスモスクラブと東京町田スマイリングクラブとの協働プログラムを展開したいと考えています。お互いの「強み」を共有し合い、それを協働していきたいと考えています。具体的には、偶数月の例会を「3クラブ合同例会」とし、協働プログラムを話し合う機会にしようとして、東京町田コスモスの次期会長、今村路加さん、東京町田スマイリングの会長、為我井輝忠さんにお話したところ、快諾をいただき、6月例会にご参加いただけることになりました。ワイズの楽しさをシェアして、仲間を増やしていきましょう。

(伊藤記)

プランター栽培講座第2弾・2回目

5月11日(火)に、プランター栽培講座の第2回目がZoomオンライン講座として開催されました。画面に映る参加者の表情は、前回に比べて明らかに緊張感が取れており、周りを見る余裕もあるように感じられました。講師の藤田智さんのユーモア溢れる巧みな話術とウィットに富んだクッション言葉が、一気に場を和ませ、Zoom画面は、いっぱい笑顔に変わりました。

今回は、前回のテーマであった5種類の種(ミズナ、小松菜、ミニチンゲンサイと枝豆、インゲン)を蒔い

た後の育て方と、お届け済みのミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマンの苗植えがテーマでした。苗植えのイロハを中心に学びご指導をいただきました。

植えつけ後の管理 (わき芽欠き)



- ・トマトは、中心の茎(主枝)がまっすぐ伸びてくるものですが、途中の茎と葉の間からわき芽と呼ばれる芽(わき芽という)が出てくるのが普通です。
- ・トマト栽培では、これらのわき芽をすべて摘み取り、主枝を1本にして育てることが一般的です。

講座の後半は、みなさんから寄せられた生育写真の一覧表を元に一人一人の写真に対し講評をいただきました。なにせ素人集団の集まりで優等生もいれば、私の様な落第生まで千差万別の出来栄でしたが、笑いの絶えない相互コミュニケーションの場になりました。遠くは北海道から静岡県まで、Zoomならではのつながりの中で、参加者全員が楽しめた1時間+αとなりました。皆さん、教わったことを忘れない内に、思い思いのプランターに4種の苗を植え付けると思います。(笑)

(講座担当 石田記)



ぼんぽこ農園便り

5月17日(月)の午後から、予定通りぼんぽこ農園で玉ねぎの第1回目の収穫作業が行われました。今回は、収穫可能な分として約140個を収穫できました。玉は大き目で、ぎゅっと詰まっていました。収穫作業の声掛けをしましたところ、療養中の井上さん、東京八王子クラブの小口さんとお友達の稲葉さん、友の会の佐々木さんと峰岸さん、クラブからは、伊藤さんと私の7名が集まってくれました。みなさんいい体験ができた様子で、短時間で作業を終えることができ、心地よい汗をかくことができました。ご協力ありがとうございました。



今回の収穫量は、140個です。玉ねぎの作柄を見て5個200円を基準に販売単価を決めさせていただきました。完売した結果、ぽんぽこファンドに総額で5,700円を組み込むことができました。予想外に多くの方から購入希望の手が上がり、嬉しい誤算でした。結果的には、需要が供給を大きく上回り、次回に持ち越しとなってしまいました。お待ちいただく方には大変申し訳なく思っている次第です。

(石田記)



これからの予定

- ・6月7日(月)19:00～6月第2例会
- ・6月8日(火)19:00～プランター栽培講座4回目
- ・6月12日(土)10:00～12:00 東日本区代議員会
- ・6月12日(土)13:30～16:30 東日本区大会
- ・6月22日(火)19:00～プランター栽培講座5回目
- ・7月6日(火)19:00～7月例会
- ・7月12日(月)19:00～7月第2例会

*いずれも Zoom 会議

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつも YMCA へのご協力に感謝いたします。

◆第18回東京 YMCA 会員大会

5月22日、オンライン(Zoom)にて開催されました。

◆今後の主な行事

- ・早天祈祷会:6月1日 オンラインにて開催予定(奨励:徳久俊彦氏)
- ・会員芸術祭:6月28日～7月3日 東陽町センターYMCA ホールにて開催予定。昨年はオンラインによる開催となりましたが、今年度は作品を展示する予定です。
- ・インターナショナルチャリティーラン、子育て講演会、国際協力一斉街頭募金などの実施に向けて、実行委員会をオンラインにて行う予定。イベント自体をどのように実施するかはこれらの実行委員会にて決定をいたします。